



2023年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月12日

上場会社名 小津産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7487 URL <https://www.ozu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今枝 英治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 三崎 剛志

TEL 03-3661-9400

四半期報告書提出予定日 2023年1月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第2四半期の連結業績(2022年6月1日～2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	5,370	2.3	355	16.0	433	8.6	305	21.6
2022年5月期第2四半期	5,494		423	13.6	474	6.1	389	12.6

(注) 包括利益 2023年5月期第2四半期 686百万円 (163.2%) 2022年5月期第2四半期 260百万円 (74.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第2四半期	36.36	
2022年5月期第2四半期	46.39	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。2022年5月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、売上高に大きな影響が生じるため、2022年5月期第2四半期に係る売上高の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第2四半期	23,367	17,051	72.9
2022年5月期	22,548	16,549	73.3

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 17,040百万円 2022年5月期 16,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期		0.00		23.00	23.00
2023年5月期		0.00			
2023年5月期(予想)				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日～2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	2.4	500	17.3	540	23.7	370	33.6	44.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年5月期2Q	8,435,225 株	2022年5月期	8,435,225 株
期末自己株式数	2023年5月期2Q	40,919 株	2022年5月期	46,225 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年5月期2Q	8,391,639 株	2022年5月期2Q	8,386,042 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績を保証するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご高覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年6月1日～2022年11月30日)の業績は、売上高53億70百万円(前年同期比2.3%減)、経常利益4億33百万円(前年同期比8.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億5百万円(前年同期比21.6%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

(不織布事業)

エレクトロニクス分野では、光学、製薬向けの需要が堅調に推移。海外販売においては円安の影響もあり、前年同期に比べ、売上高は横ばい、利益面は増加いたしました。

メディカル分野では、新型コロナウイルス感染症対策の衛生材料が堅調推移したものの、マスク需要が減少したため、売上高、利益面とも前年同期を下回りました。

コスメティック分野では、国内販売、東アジア市場向けの販売とも、低調であったため、売上高、利益面とも前年同期を下回りました。

除染関連分野につきましては、今期の採用実績が少なく、売上高、利益面とも前年同期を下回りました。

小津(上海)貿易有限公司では、中国のゼロコロナ政策の影響はあるものの、主にエレクトロニクス分野の需要が堅調であったことから、売上高、利益面とも前年同期を上回りました。

ウエットティッシュ等の製造販売を営む株式会社ディプロでは、原材料価格高騰等の影響があるものの、前年の新型コロナウイルス感染症拡大による需要増からの反動減より徐々に回復傾向を示し、売上高、利益面とも前年同期を上回りました。

アグリ分野を担う日本プラントシーダー株式会社では、国内販売、海外販売ともが低調推移したため、売上高、利益面とも前年同期を下回りました。

これらの結果、売上高は52億63百万円(前年同期比2.4%減)、セグメント利益は3億21百万円(前年同期比19.5%減)となりました。

(その他の事業)

その他の事業(除菌関連事業および不動産賃貸業)につきましては、売上高は1億6百万円(前年同期比3.9%増)、セグメント利益は33百万円(前年同期比41.6%増)となりました。

(注)日本プラントシーダー株式会社の決算期は2月末日のため、当第2四半期連結累計期間には2022年3月から2022年8月の実績が、株式会社ディプロおよびエンビロテックジャパン株式会社(除菌関連事業)の決算期は3月末日のため、当第2四半期連結累計期間には各社の2022年4月から2022年9月の実績が反映されております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて8億19百万円増加し、233億67百万円となりました。主な要因は、「投資有価証券」の増加5億51百万円、「受取手形及び売掛金」の増加2億81百万円であります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて3億16百万円増加し、63億15百万円となりました。主な要因は、「繰延税金負債」の増加2億23百万円、「支払手形及び買掛金」の増加1億80百万円であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて5億2百万円増加し、170億51百万円となりました。主な要因は、「その他有価証券評価差額金」の増加3億78百万円、「利益剰余金」の増加1億12百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1億40百万円増加し72億13百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は4億21百万円(前年同期比59百万円減)となりました。収入の主な内訳は、「税金等調整前四半期純利益」4億33百万円、「減価償却費」1億89百万円、「仕入債務の増減額」1億80百万円であり、支出の主な内訳は、「売上債権の増減額」2億65百万円、「法人税等の支払額」1億18百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億円(前年同期比4百万円減)となりました。支出の主なものは、「有形固定資産の取得による支出」99百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億92百万円(前年同期比0百万円増)となりました。支出の内訳は、「配当金の支払額」1億92百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、2022年7月13日公表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,073,786	7,213,890
受取手形及び売掛金	2,078,695	2,359,846
電子記録債権	701,091	686,306
商品及び製品	1,047,010	982,496
原材料	586,960	590,840
その他	696,747	717,082
貸倒引当金	△301	△501
流動資産合計	12,183,991	12,549,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,184,473	6,188,348
減価償却累計額	△3,420,584	△3,500,740
建物及び構築物(純額)	2,763,889	2,687,607
機械装置及び運搬具	2,031,786	2,037,927
減価償却累計額	△1,518,336	△1,583,673
機械装置及び運搬具(純額)	513,449	454,254
土地	1,339,010	1,363,010
その他	462,665	468,773
減価償却累計額	△347,906	△366,788
その他(純額)	114,759	101,985
建設仮勘定	38,756	80,754
有形固定資産合計	4,769,865	4,687,613
無形固定資産		
その他	92,823	80,246
無形固定資産合計	92,823	80,246
投資その他の資産		
投資有価証券	5,098,919	5,650,780
長期貸付金	4,352	3,754
繰延税金資産	16,294	19,300
その他	384,026	377,940
貸倒引当金	△1,621	△1,723
投資その他の資産合計	5,501,969	6,050,052
固定資産合計	10,364,658	10,817,912
資産合計	22,548,649	23,367,873

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,133,063	1,313,329
短期借入金	1,270,000	1,270,000
未払法人税等	139,728	82,011
賞与引当金	25,576	28,973
その他	997,525	960,734
流動負債合計	3,565,893	3,655,048
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	800,000	800,000
繰延税金負債	950,037	1,173,694
退職給付に係る負債	133,409	137,140
その他	50,091	50,091
固定負債合計	2,433,538	2,660,926
負債合計	5,999,431	6,315,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,393,779	1,396,852
利益剰余金	11,355,540	11,467,703
自己株式	△54,769	△48,482
株主資本合計	14,016,764	14,138,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,495,558	2,873,913
為替換算調整勘定	25,738	27,947
その他の包括利益累計額合計	2,521,296	2,901,861
非支配株主持分	11,156	11,750
純資産合計	16,549,217	17,051,898
負債純資産合計	22,548,649	23,367,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
売上高	5,494,510	5,370,404
売上原価	3,783,765	3,675,708
売上総利益	1,710,744	1,694,696
販売費及び一般管理費	1,287,531	1,339,207
営業利益	423,213	355,489
営業外収益		
受取利息	193	204
受取配当金	33,218	38,129
持分法による投資利益	4,142	3,524
為替差益	4,937	28,592
その他	17,080	16,850
営業外収益合計	59,572	87,300
営業外費用		
支払利息	6,422	6,412
売上割引	1,242	1,342
その他	855	1,343
営業外費用合計	8,520	9,097
経常利益	474,266	433,692
特別利益		
固定資産売却益	—	276
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	3	276
特別損失		
固定資産除却損	432	30
特別損失合計	432	30
税金等調整前四半期純利益	473,836	433,938
法人税、住民税及び事業税	81,018	76,428
法人税等調整額	3,980	51,805
法人税等合計	84,999	128,234
四半期純利益	388,837	305,703
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△209	594
親会社株主に帰属する四半期純利益	389,046	305,109

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	388,837	305,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△127,263	378,423
為替換算調整勘定	5,223	2,208
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,060	△68
その他の包括利益合計	△128,100	380,564
四半期包括利益	260,736	686,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,945	685,673
非支配株主に係る四半期包括利益	△209	594

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	473,836	433,938
減価償却費	219,882	189,364
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△48	301
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,002	3,396
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△14,714	3,731
受取利息及び受取配当金	△33,412	△38,333
支払利息	6,422	6,412
為替差損益(△は益)	△7,042	△12,188
持分法による投資損益(△は益)	△4,142	△3,524
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△276
有形固定資産除却損	432	30
売上債権の増減額(△は増加)	△315,141	△265,081
棚卸資産の増減額(△は増加)	201,320	62,085
仕入債務の増減額(△は減少)	△60,348	180,266
未払消費税等の増減額(△は減少)	△41,191	9,320
その他の資産の増減額(△は増加)	139,102	△18,547
その他の負債の増減額(△は減少)	△107,069	△40,440
その他	2,014	△4,645
小計	457,898	505,809
利息及び配当金の受取額	33,412	38,333
利息の支払額	△6,369	△6,204
法人税等の支払額	△4,091	△118,516
保険金の受取額	—	2,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	480,849	421,421
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△93,949	△99,226
有形固定資産の売却による収入	—	145
無形固定資産の取得による支出	△8,268	△887
投資有価証券の取得による支出	△1,975	△1,137
貸付金の回収による収入	598	598
その他	△1,366	317
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,962	△100,190
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△105	—
配当金の支払額	△192,566	△192,821
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192,672	△192,821
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,372	11,693
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	188,587	140,103
現金及び現金同等物の期首残高	6,616,151	7,073,786
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,804,738	7,213,890

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年6月1日至2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	不織布				
売上高					
外部顧客への売上高	5,391,927	102,582	5,494,510	—	5,494,510
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	19,999	19,999	△19,999	—
計	5,391,927	122,581	5,514,509	△19,999	5,494,510
セグメント利益	398,764	23,832	422,596	616	423,213

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額616千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年6月1日至2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	不織布				
売上高					
外部顧客への売上高	5,263,811	106,593	5,370,404	—	5,370,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	23,558	23,558	△23,558	—
計	5,263,811	130,151	5,393,962	△23,558	5,370,404
セグメント利益	321,124	33,755	354,880	608	355,489

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額608千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。